

研究に関する情報の公開（オプトアウト）

【研究課題】

急性限局性細菌性腎炎（AFBN）における腹部症状と腹部 CT 所見の関連性に関する多施設共同後方視的観察研究（審査番号：2025326NI）

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

研究機関：埼玉医科大学病院 小児科

研究責任者：秋岡祐子（小児科）

担当業務：診療情報・画像データの取得および主任研究機関への提供

【主任研究機関】

東京大学医学部附属病院 小児科

研究代表者：神田 祥一郎（講師）

担当業務：研究計画の立案、解析の統括

【その他の共同研究機関】

- 研究機関：太田西ノ内病院 小児科（情報提供および共同解析）
- 研究機関：公立昭和病院 小児科（情報提供および共同解析）
- 研究機関：国保旭中央病院 小児科（情報提供および共同解析）
- 研究機関：埼玉医科大学病院 小児科（情報提供および共同解析）
- 研究機関：埼玉医科大学総合医療センター 小児科（情報提供および共同解析）
- 研究機関：さいたま市民医療センター 小児科（情報提供および共同解析）
- 研究機関：市立青梅総合医療センター 小児科（情報提供および共同解析）
- 研究機関：茅ヶ崎市立病院 小児科（情報提供および共同解析）
- 研究機関：焼津市立総合病院 小児科（情報提供および共同解析）
- 研究機関：横須賀市立総合医療センター 小児科（情報提供および共同解析）

【研究期間】

承認日 ～ 2030 年 7 月 31 日

【対象となる方】

2010 年 4 月 1 日から 2025 年 7 月 31 日の間に、主任研究機関および共同研究機関において、急性巣状細菌性腎炎（AFBN）と診断され通院または入院した 0 歳～20 歳の患者さん、および腎疾患を有さずに腹部画像検査を受けた 0 歳～20 歳の患者さんが対象です。

【研究の目的・意義】

本研究は、小児のAFBNにおいて、腹痛や嘔吐などの消化器症状が現れる理由や、それらの症状と腎臓の病気の重症度・画像所見との関係性を明らかにすることを目的としています。これにより、診断の遅れを防ぎ、より適切な治療方針の確立につなげることを目指します。

【研究の方法】

本研究は観察研究です。対象者の診療録および画像データより、年齢、性別、主訴、検査結果、画像所見（腎障害の部位、腹膜炎の有無など）を匿名化した上で収集・解析します。特に研究対象者の皆さんに新たにご負担いただくことはありません。対象者数は全体で約600名（AFBN群300名、対象群300名）を予定しています。

利用又は提供を開始する予定日：病院IRB承認日

【個人情報の保護】

取得した診療情報や画像データは、氏名、カルテ番号、生年月日などの個人情報を削除し、研究用IDを付して匿名化した上で管理されます。匿名化前の対応表は各施設内で厳重に管理され、主たる研究機関には提供されません。データはパスワード管理されたパソコンや施錠保管庫に保管され、研究終了後5年間保存されたのち、安全な方法で廃棄されます。

この研究のためにご自分（あるいはご家族）の診療情報や画像データ等を使用してほしくない場合は主治医にお伝えいただくか、下記の問い合わせ先にご連絡ください。研究に参加いただけない場合でも、将来にわたって不利益が生じることはありません。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

【研究成果の公表】

本研究の成果は、対象者個人が特定されない形式で、学会発表や学術雑誌等を通じて公表される予定です。

【試料・情報の管理責任者】

所属：埼玉医科大学病院 小児科

氏名：秋岡祐子

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学医学部附属病院長の許可を受けて実施するものです。この研究に関する費用は、東京大学医学部附属病院小児科の運営費から支出されています。本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。尚、あなたへの謝金はございません。

この研究について、わからないことや聞きたいこと、何か心配なことがありましたら、お気軽に下記の連絡先までお問い合わせください。

【連絡・お問い合わせ先】

研究責任者：埼玉医科大学病院小児科 秋岡祐子

連絡担当者：埼玉医科大学病院小児科 秋岡祐子

住所：埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 38

Tel: 049-276-1218

Fax: 049-276-1218

E-mail: akioka@saitama-med.ac.jp